

## 障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

### ○概 評

①非該当とした項目（放課後等デイサービス、児童発達支援、保育所等訪問支援については「いいえ」とした項目）の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

「環境・体制整備」の項目については、児童発達支援においては、本市が掲げている「子どもと指導員1対1の充実した支援」を行うための指導員の人員の確保ができ、余裕をもって療育を行うことができました。  
・保育所等訪問支援の担当訪問支援員の体制は、複数で支援体制を整備しました。

「適切な支援の提供」の項目については、適切な支援に繋げるため個別支援計画作成前に保護者と面談し、子どもと保護者のニーズや課題を把握しました。また、アセスメントの際には、新たに作成したアセスメントシートを活用し、心理士やOT、STなどの専門職を交えて話し合いました。

「関係機関や保護者との連携」の項目については、保護者の同意を得て保育所などへのアウトリーチを積極的に行っています。母子保健担当部局や保育園などの連携や就学先等の移行支援は、支援の連動性を確保することが必要なため適切に行っています。また、療育利用児だけでなく「エール」において支援している児童について、適切な就学支援ができるよう、教育委員会などとの連携を深め、民間の児童発達支援事業所と効果的に連携ができるよう、顔の見える関係づくりを強化します。

「非常時等の対応」の項目については、各種対応マニュアルや計画を保護者が閲覧できるよう掲示したり、ホームページに掲載するなど周知を図ります。安全計画の策定を進め保護者への周知に取り組みます。

「業務改善」の項目については、保護者、職員、外部評価者の意見を職員全体で共有し、PDCAサイクルを適切に回しながら取り組みを進めていきます。

「保護者への説明など」の項目については、保護者支援や地域に開かれた事業運営などは、療育教室だけでなく児童発達支援センター「エール」としてその取り組みを充実します。

### ○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規継続終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
防犯・安全マニュアルの未策定	防犯に関する訓練を実施し、マニュアル策定について検討する。保護者に対しマニュアルなどの周知を行う 《進捗》 感染症マニュアルを作成し、研修会や訓練を定期的に実施している。	継続	令和8年4月から令和9年3月まで
虐待・身体拘束防止に向けた対策の徹底	外部委員が出席する虐待防止委員会の開催を継続している。虐待防止や身体拘束等適正化に関する研修やセルフチェックを実施した。今後も自分たちの療育を振り返り、事例を積み上げながら、職員の知識の向上を図るとともに組織的な対応に取り組むようにする。	継続	令和8年4月から令和9年3月まで
保護者や職員、外部関係者による事業所評価をもとに職員全体で業務改善に取り組む	所内会議やチーム会議において話し合いを継続し、その結果を職員間で共有し、次年度へつなげていくことができるようにする。	継続	令和8年4月から令和9年3月まで